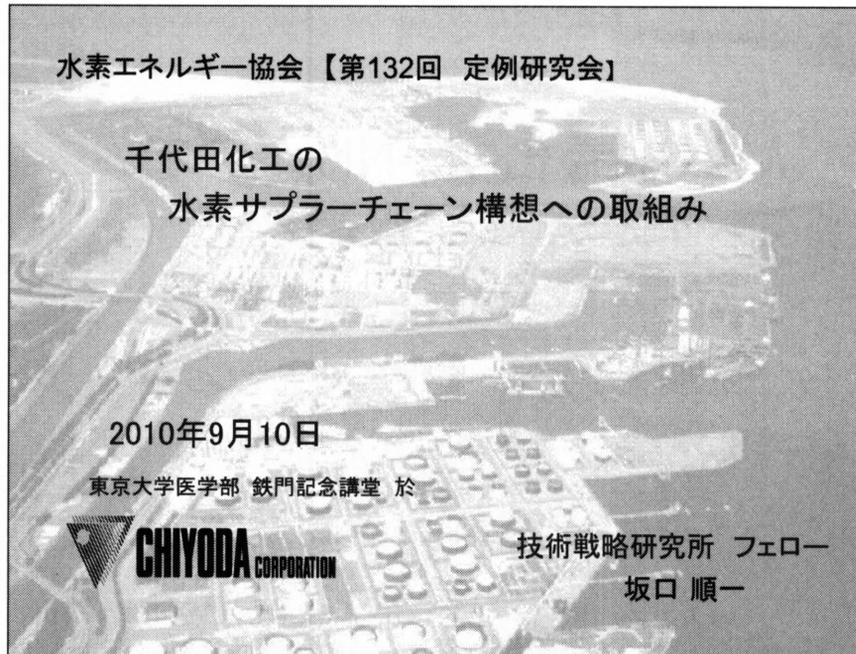


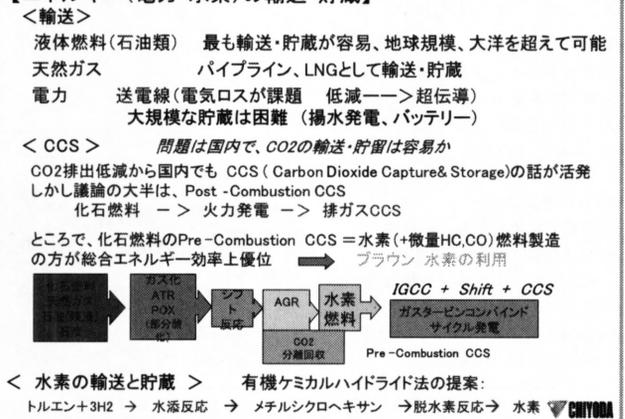
第132回定例研究会 資料 VII



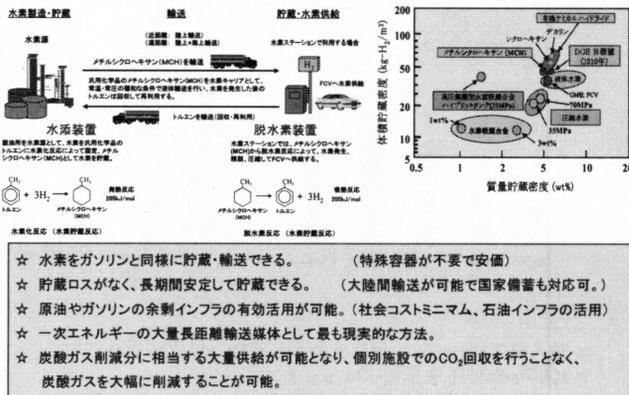
【CO2排出削減の切札—水素の利用】

- 水素は、1次エネルギー源ではない。 **要再確認**
 - グリーン水素：非化石燃料起源の水素
 - 自然(再生可能)エネルギー、原子力エネルギー → **水の電気分解** (ISプロセス)
 - バイオ燃料から製造、副生ガスからの水素回収(鉄鋼、ソーダー、石化)
 - 化石燃料(天然ガス、石油、石炭)起源の水素 (ブラック水素)
 - 本来の水素社会実現の意図は、グリーン水素の有効利用ではないか。
 - 化石燃料(天然ガス、石油、石炭)起源の水素は、CCSを実行しない限り片手落ち。
 - 化石燃料使用の火力発電の電力利用の水素製造(水電気分解)は、エネルギー変換効率から意味をなさない。但し、水力、原子力発電の夜間電力利用は意味あり。
 - 2030年以降も1次エネルギー源の80%程度は化石燃料
 - 化石燃料(天然ガス、石油、石炭)起源の水素製造 w/CCSが有効
 - **ブラウン水素**
- グリーン水素とブラウン水素の併用

【エネルギー(電力・水素)の輸送・貯蔵】



【有機ケミカルハイドライド法による水素の輸送・貯蔵】



【グローバルな水素サプライチェーン構想】日本国内に炭素を持ち込まない

